

かほく市立高松中学校 学校便り

《校訓》「責任を果たせ 自主・協同・奉仕」

さわやか



特別号 3 令和8年2月10日発行

校長 塚田 秀和

□ 後期学校評価アンケート結果等のお知らせ

保護者の皆様のご意見を伺いながら、家庭・地域・学校が連携した教育活動を推進するため、12月に「本校の教育活動に関するアンケート（生徒・保護者）」を実施させていただきました。ここでは、保護者の皆様にぜひ、お知らせしたい項目について記載しました。この結果を踏まえて、より良い学校づくりに努めてまいります。また、学校運営協議会でいただいたご意見を掲載した学校評価最終報告を2月中にホームページ上で公開しますので、併せてご覧ください。

○ 学校での授業や生活のようす

後期学校評価アンケートを見ると、前期よりポイントを落としている項目も見られますが、全体的に落ちておらず、温かな人間関係（生徒間、生徒・職員間）を土台に教育活動が行われている良好な状況と捉えています。月に1度の学年職員による生徒との面談も定着し、この面談等を通じて「生徒を認める」ことを今後も継続的に実施していきます。授業についても、前期に比べ授業の内容が難しくなってきたことを受けポイントを下げた項目もありますが、河北郡市統一テスト（3年生）において良好な成績が見られています。

	質問項目	R7後期	R7 前期	評価
生徒		93%	95%	
保護者	学校生活が楽しい	85%	88%	△
生徒	いじめは、どんな理由があってもいいことだと思う	99%	98%	
生徒	先生は、生徒の話に耳を傾けてくれる	95%	94%	
生徒		95%	91%	○
保護者	授業はわかりやすい	73%	73%	
生徒	授業では課題解決に向けて、自分で考え、自ら取り組んでいる	93%	94%	
生徒	先生や友達の話を分かろうとして聞いている	99%	98%	
生徒	自分は礼を正す（あいさつ）ができている	95%	96%	

※ 数値（%）は、「1そう思う」「2だいたいそう思う」を合わせた肯定的な評価の合計

※ 評価は今年度前期のアンケートと比較 ○：3ポイント以上上昇 △：3ポイント以上下降

○ 「高中スタイル」の授業の成果

本校では石川県の研究指定を受け「生徒自身が学び方を考えて、学習を進める『高中スタイル』」の授業を取り組んでいます。11月には、研究の一端を公開する発表会を開催したところ県内外より100名を越える学校関係者の参加がありました。「高中スタイル」の授業の成果を検証するアンケートでは、概ね高い肯定的評価を得ていますが、以下に示すような成果（○）と課題（△）が挙げられます。

- 「高中スタイル」の授業の実施により、自ら学びを進めることへの意識が高まっている。
- 生徒間に安心して学習を進める土台があり、協働的な学習につながっている。
- △ 自分で考えて、学習を進める力を十分に育成できない生徒もあり、さらに支援を続けていく。
- △ 授業での学びが自主学習につながるように、興味関心を深める活動を取り入れていく。

	質問項目	R7後期	R7 前期	評価
生徒	授業では、他の人の考え方や意見を自分の学びに生かしている	94%	94%	
生徒	振り返りでは、自分の学び方を見つめ直し、次に生かせている	93%	91%	
生徒	授業では、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学んでいる	96%	90%	○

生徒	今、学んでいることを、前に学んだことと結びつけている	88%	87%	
生徒	授業では、自分が困ったときに、仲間に助けを求めている	93%	94%	
生徒	自分の状況や前回のテスト計画の反省を生かして、計画を立てることができた	82%	80%	
生徒	他の人から勧められたことは、興味がなくても自分で調べてみたりやってみたりしている	77%	78%	



【2025.11.21 「高中スタイル」の授業公開研究発表会】

○ 家庭での生活や「生き方」に関するこ

後期は、前期に比べ「進路学習」の機会が増えることで「進路について考えたり、学んだりする機会がある（生徒）」の評価が前期より上昇する傾向にあります。今年度、FT（総合的な学習の時間）では1年生「地域学習」「進路学習」、2年生「職場体験学習」「上級学校調べ」、3年生は「SDGsをテーマにした探究学習」の活動を実施しています。これらの活動が生徒の視野を広げ、自身の「生き方」や「良さ」について考える機会になったと考えています。



1年生「探究活動報告会」 3年生「卒業論文発表会」

また、最近3年間、増加してきた家庭学習の時間がやや減少し、ネット等を使用する時間が増えました。学校では、継続して見通しを持った時間の使い方について考える機会を持ちます。

	質問項目	R7後期	R7 前期	評価
生徒	進路について考えたり、学んだりする機会がある	88%	83%	○
生徒	自分にはよいところがある	81%	77%	○
生徒	将来の夢や目標を持っている	76%	74%	
保護者	-----	63%	63%	
生徒	「かほく市ネットルール共同宣言」を守ろうと意識している	78%	83%	△

○ 保護者アンケートより「開かれた学校」をめざして

本校の教育活動について、各種たより、ホームページにおいて、ご家庭や地域にお伝えしています。子育ては不安と苦労の連続です。「学校は相談や問合せに適切に応じてくれる」の項目が9割をこえたことに職員も感謝しています。いつでも担任や学校に相談していただければと思っていますし、私たちも困った時には保護者の皆様に相談させていただくこともあります。

	質問項目	R7後期	R7 前期	評価
保護者	学校は相談や問合せに適切に応じてくれる	91%	85%	○
保護者	学校におけるいじめ未然防止や早期発見のための取組が伝わってくる	82%	80%	
保護者	学校便り・ホームページ等で学校の指導方針やお子様の様子が伝わってくる	91%	95%	△
保護者	コミュニティ・スクールを生かして、保護者・地域と連携した取組を行っている	86%	82%	○

□ 第3回学校運営協議会（2月9日）でいただいた、ご意見より

- ・「高中スタイル」の授業は学力を向上させるだけでなく、自分で考えて動く力・先を見て考える力といった社会に出てから必要な力も高めると思う。
- ・職場体験、大学訪問などの自分の将来をイメージする活動を今後も続けるとよい。

